

進路だより ~ No Limit ~

第1号 令和8年 4月22日(水)



最高学年 スタート

最高学年の生活がスタートして2週間が経ちました。始業式、入学式、新入生を迎える会、…あなたが思い描いていた、良いスタートが切れましたか。

さて、今年は「義務教育最後の年」であり、「進路選択の年」でもあります。それは、今までほとんどの人が自動的に「小学校→中学校」と進んできましたが、いよいよ「自分の意志で、自分の力で、自分の将来を切り開いていく」時を迎えたということを意味します。「高等学校進学」を目指す生徒もいれば、「就職」を目指す生徒もいることでしょう。「就職」を選択して、その職場で定年まで勤める人もいるかもしれませんが、「高等学校進学」を目指すのであれば3年後(高等専門学校なら5年)に次の進路選択をしなければならず、高校受験は「ゴール」ではなく「通過点」と言えそうです。

今年1年間、この「進路だより」を通して、様々な情報を発信していきます。まずは、自分でじっくり読んでほしいと思います。そして、「自分はどう生きたいのか」、そのために「どのような進路を選択するのか」という問いに対しての答えをじっくり考えてほしいと思います。



第1回進路希望調査

本日、第1回進路希望調査を配付しました。加えて、クラスルーム「2026 R8 進路ルーム」に、生徒用回答フォームもアップしています。質問等の記入もそちらに入力していただき、次号以降の進路だよりで回答を載せようと思います。本番の願書には、「出願者署名」、「保護者署名」も必要になりますので、進路希望調査用紙には間違いの無いよう署名を行い、担任に提出をお願いします。お家で相談した内容や質問なども、ぜひ書いていただければと思います。

「進路希望調査」は、その時点で「皆さんや保護者の方がどのような進路(生き方も含む)を考えているか、それに対してどのような見通しをもっているか」を確認するためのものです。結論を急ぎすぎず、保護者の方と「自分の将来」や「その進路先で、自分がどんなことを学びたいのか」等をよく話し合っ、お互いに納得した上で記入をしてください。なお、4月28日(火)締め切りです。



5つの約束

これからの一年間、皆さんは試行錯誤しながらも最終的に進路選択をすることになります。進路選択とは「生き方選択」です。決して、「進学先選択」ではありません。焦ることなくじっくりと、後悔のないようにしていきましょう。

さて、皆さんに次の5つのことを約束してほしいです。中には「社会人であれば当然」という内容もあります。皆さんはまだ中学生ですが、社会人になる準備のつもりで実践してみましょう。

1. 自分で考えよう

→ 自分で考え、決めた進路であれば、あとで迷うことも少なくなります。「誰かが言っていたから」、「誰かに言われたから」ではなく、自分で調べ、考えることが大切です。

2. 期日を守ろう

→ 一人が守らないと、学級・学年に迷惑がかかります。担任はその一人のために作業が進まないことも…。授業での提出物はもちろん、進路に関わる提出物も締め切りを守りましょう。

3. よく相談しよう

→ 一人で考えることも大事ですが、先生方や保護者と相談することで気が楽になったり、道が開けたりするものです。

4. 保護者の方に伝えよう

→ 受験する学校の情報や通学手段等々の確認はもちろんのこと、進路学活で学んだことや進路だよりの内容を保護者の方とも共有しましょう。進路だよりに書かれていることは「保護者の方も読んで理解されている」という前提で今後は進んでいきます。また、奨学金の関係や入学手続きなどは保護者の方の判断が必要です。まずは今日、この進路だよりを家に持ち帰って、保護者の方と内容を共有しましょう（保護者の方へは「すぐーる」でも配信します）。また学級にも掲示しますが、自分の手元で確認をしたい人は二つ穴のファイルを用意しましょう。

5. 感謝の気持ちを大切に

→ 多くの人の支えて、今の自分がいます。進路選択においても、たくさんの人の支えを必要とします。支えてもらうばかりではなく、日頃から恩返ししていけるような人になることを願っています。

さあ、いよいよ受験生としてのスタートです！

一つずつ確実に進めていくことがスタートダッシュにつながります！

今後、高校からのチラシやパンフレットが続々と中学校に届きます。それらは個人向けに「1人1枚」のものもあれば、「学校で1枚」とか「学級に1枚」のものもあり、様々です。

チラシやパンフレットには、各高校の特色や学校公開日、体験入学の日時や申し込み要領などが掲載されていますので、進路選択のために有効に活用してください。

※学校説明会・体験入学について

- ・時期的には、例年、9～10月に実施する学校が多いですが、1学期中や夏休みに行うところもあります。
- ・チラシで配付したり、高校のホームページで告知・申し込みを行ったりする高校も増えています。中学校に届いたものは配付したり、掲示したりしますが、皆さんや保護者の方が主体的に情報を収集していくのが基本です。